

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、補助競技場及び雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。

### ①補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。（集団ジョグは不可。）
- ・3～4レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
- ・5～6レーンは、400mHを優先する（大会2日目まで）。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路4～7レーンとする。
- ・多目的広場側直走路9レーンは、女子100mH、11レーンは、男子110mHとする。
- ・テント等を設営しての独占的な使用をしない。

### ②雨天練習場の使用について

- ・ピストルの使用は禁止する。
- ・入場は、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止とする。
- ・シート等を敷いて独占的な使用は絶対にしない。
- ・ウォーキング、ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動き作り程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング、ジョギング等は左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードル、スターティングブロックは使用できない。

## 2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。また、スパイクの本数は原則として11本以内とする。

## 3 ナンバーカードについて

ナンバーカードは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手はどちらか一方でもよい。

トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。

男子5000m、女子3000m及び男女5000mW決勝は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードについては、招集所にて配布する。

## 4 選手招集について

①選手招集場所は第2ゲート（1500mスタート付近）とする。

②選手招集時刻は下記のとおりとする。（○印のチェック等の第1コールは行わない。）

トラック競技（予選）		トラック競技（決勝）		フィールド競技	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
30分前	20分前	25分前	15分前	40分前	30分前

※ただし、棒高跳については、60分前に現地で招集する。

③リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに提出すること。なお、決勝においてもオーダーの変更の有無に関わらず、予選に準じて提出すること。

④混成競技における招集は、第1日目、2日目とも第1種目の該当時刻に招集所で実施する。第2種目以降は該当種目の招集完了時刻に合わせて現地で最終コールを実施する。

⑤2種目同時に出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②トラック競技のスタート合図は、イングリッシュコマンドで実施する。
- ③トラック競技の次ラウンド進出は着順優先とし、各組上位者のみとする。  
 プラス進出者の決定で、最下位で同記録者が出た場合は、判定写真を拡大し細部（**電気時計 1/1000**）まで読み取り着差判定をする。それでも判定できないときは、ハードルを含む800mまでは、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕がない場合は抽選して決定する。1500m以上の同記録者は次のラウンドに進出できる。
- ④4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意したマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- ⑤4×400mリレーの第3・第4走者の待機順は、200mスタート地点を通過した順序とし、それ以後いかに順序が入れ替わろうとも変えることはできない。
- ⑥各レースの**不正スタートは1回目から全て失格**とする。
- ⑦競歩の制限時間は、最後の1周に入った時点で下記の時間を超えないこと。超えた場合は競技を打ち切る。  
**男子5000mW 30分 女子5000mW 35分**
- ⑧競技者が、競技場内へ携帯電話等の通信機器やビデオ・デジカメ等の撮影装置を持ち込むことは禁止とする。
- ⑨競技者が、競技場内に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込むとき、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従って、持ち込みの規制や商品名を隠す等の処置を受ける場合があるので注意すること。
- ⑩助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については、競技運営並びに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ただし、文書をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。当該競技の審判員にその旨を伝えてから移動すること。

6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、棒高跳用ポール・やりに限り個人所有の物を使用することができる。個人所有のポールの検査は、招集完了（現地）時に跳躍審判員が行う。やりの検査は、競技開始60分前に第1ゲート入って左の用器具倉庫前（ゴール付近）で行う。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

7 跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、選手の記録により変更あり）

		練習							以降
走高跳	男子	155	160	165	170	175	180	183	3cm刻み
	男混	135	140	145	150	153	156	159	3cm刻み
	女子	130	135	140	145	150	153	156	3cm刻み
	女混	115	120	123	126	129	132	135	3cm刻み
棒高跳	男子	270	280	300	320	340	350	360	10cm刻み
	女子	190	200	220	240	250	260	270	10cm刻み

- ②三段跳の踏み切り板は、男子11m00、女子9m00に設置する。

8 表彰について

- ①個人表彰は、第1位から第3位に賞状を授与する。  
 3位までの入賞者は、決勝終了後、入賞者控所（メインスタンド下、中央入口内）で待機し、係員の指示を受ける。表彰は、上半身のみユニフォームを着用すること。
- ②学校対抗の表彰は、閉会式において男女とも総合、トラック、フィールドの第1位から第3位まで行う。
- ③得点は、1位－8点、2－7、3－6、4－5、5－4、6－3、7－2、8－1点とする。  
 ただし、混成競技の得点は、『総合』のみに加える。

9 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②救急・救護について、応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、メインスタンド下中央付近の医務室に連絡すること。
- ③記録はメインスタンド下の正面玄関付近に掲示する。

《 補 助 員 割 当 表 》

学 校 名	人数	部 署	準 備 及 び 片 づ け
北 条	6	用器具	用器具全般
松 山 東	8	記録・番組編成	記録関係全般・番組編成
松西中等	6	用器具	用器具全般
松 山 南	6	投てき全般	投擲の囲い・ラインテープ・ペグ・記録表示板
松 山 北	8	スタート・出発	スタート器具・スタプロ・レーンナンバー
松山工業	6	走幅跳・三段跳	砂場掘り起こし・器具・記録表示板
松山商業	8	投てき全般	投擲の囲い・ラインテープ・ペグ・記録表示板
松山中央	8	投てき・競歩	投擲競技準備補助・競歩競技補助
伊予農業	8	用器具	用器具全般
伊 予	8	練習場	練習場用器具全般
東 温	8	走幅跳・三段跳	砂場掘り起こし・器具・記録表示板
新 田	8	走高跳・棒高跳	走高跳、棒高跳マット・スタンド・バー・記録表示板
済 美	8	選手・風速	選手係器具・机・椅子・黒板
聖カタリナ	6	表彰・庶務	表彰台・国旗・大会旗の掲揚・庶務係補助
愛大付属	6	走高跳	走高跳マット・スタンド・バー・記録表示板